

市町村名		北大東村					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	北大東養殖産地協議会養殖事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 III-9	
事業内容	離島である北大東村では、水産業において他の地域との差別化を図る為に、水質管理に負担が少なく、且つ安全に成長を促進させる『パイオ技術を用いて海水をろ過する陸上養殖システム』での養殖事業確立と継続的養殖研究に向けて施設設置の取組を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	359,644	—	105,000	—	
		(b) 予算現額	359,644	—	105,000	—	
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	—	
		(d) 繰越額	—	343,159	—	70,656	
	A. 計(b+d)		359,644	343,159	105,000	70,656	
	B. 執行済額		16,485	339,552	34,344	56,592	
	うち交付金充当額		13,188	271,641	27,475	45,273	
	次年度繰越額		343,159	0	70,656	0	
	執行率(%) (B/A)		4.6%	98.9%	32.7%	80.1%	
予算の状況の説明		・設置管理(産地協議会)予定者より孵化施設の配置の変更について要望があり、その調整に不測の日数を要した為、70,656千円を平成27年度へ繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・孵化飼育施設の整備 ・非常用発電機の施設の整備	目標	(施工監理・工事の完了)	(施工監理・工事・発電機設置の完了)	()	()	
		実績	1棟の施工監理・工事の完了	施工監理・工事・発電機設置の完了			
	目標		()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	<p>周囲を断崖に囲まれている北大東島での完全陸上養殖及び稚魚孵化施設は、水産業の可能性を大きく広げる事業であり、平成27年8月10日に孵化飼育施設・非常用発電機施設の整備を行い、従来の水産従事者の収益向上及び新規雇用を創出する新たな水産業基盤を構築した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・孵化飼育施設整備の完了 ・非常用発電機施設整備の完了	目標	(0回)	(施工監理・工事の完了)	(施工監理・工事・発電機設置の完了)	()	()
		実績		施工監理・工事の完了	施工監理・工事・発電機設置の完了		
	目標		()	()	()	()	()
	実績						
	進捗状況説明	<p>他の地域との差別化を図る為、オリジナリティ追及やブランドの構築に向け、開発研究を継続。完全陸上養殖による水質管理(浄化)コストの低減化・生産量増・拡大を図り、平成28年内の出荷に向けて、取り組んでいる。併設して稚魚孵化施設も整備。(本土からの稚魚購入経費・輸送コスト・稚魚移動負担の低減化に繋がる。)非常用発電機の整備により、停電時も電力供給が可能になり、安定的な実施が可能になった。</p>					

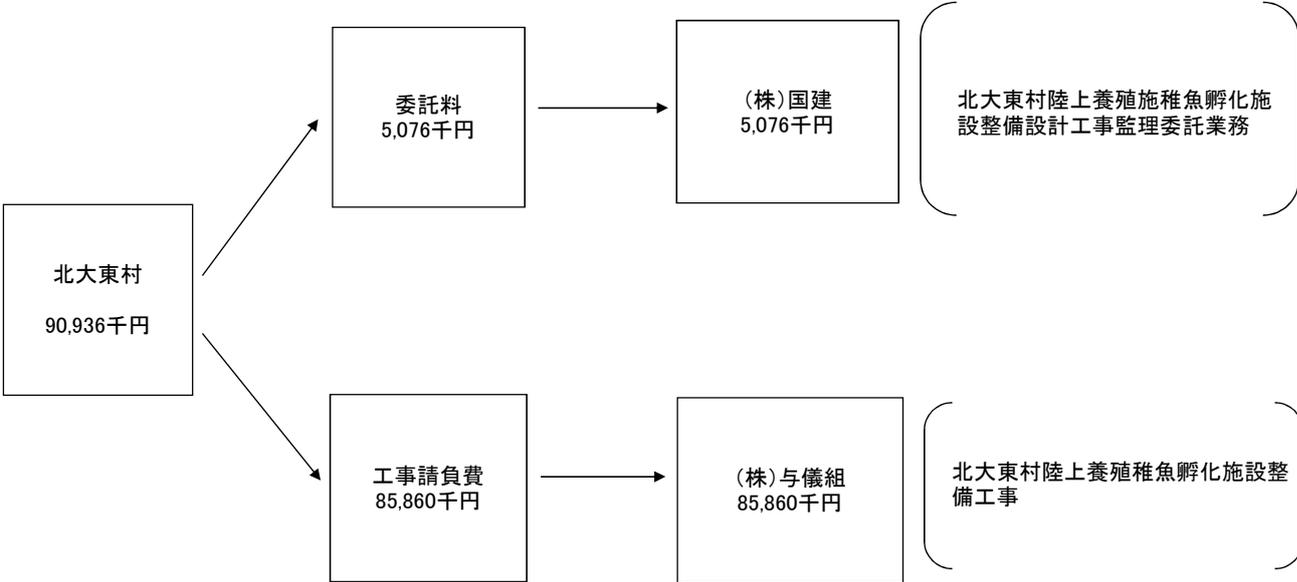
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	陸上養殖稚魚孵化施設を整備していく中で、海上養殖事業が不可能な中、陸上養殖の技術や雇用・稚魚輸送コストの低減化等が課題となった。(水質管理・輸送コスト)①約3年間の養殖研究成果を活かし、島内での低コストでの供給。②販路の確保。③雇用の創出。④新たな種類の養殖展開。⑤停電時の電力供給が可能になるように非常用発電機施設の整備。	旧村営プール跡地を有効利用し、『バイオ技術を用いて海水をろ過する養殖システム』を導入したことによって、専門知識が無くても水質管理・完全陸上養殖が可能になる。水質管理業務負担が少ない為、並行して稚魚孵化施設管理・育成・飼料配合の研究を継続的に実施。非常用発電機施設の整備によって、停電時の電力供給が可能になった。

今後の取り組み方針

陸上養殖稚魚孵化施設が整備され稼働する事により、施設雇用者の創出と養殖生産量(アワビ・ウニ・ヒラメ類)の増加。完全陸上養殖の販売システム(産卵・孵化・養殖・販売)を開発し、他の離島地域でも実施可能なモデル構築に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金	
90,936	90,936	18,188	72,748	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○予算規模については、入札残が発生したが、事業趣旨から概ね妥当な規模であったと考えている。 ○委託業者・工事請負業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	